

**MURITA** REPORT 2004

株主・投資家のみなさまへ

第72期中間事業報告書

2004年4月1日から2004年9月30日まで



**MURITA**

証券コード：6455

## 世界初の「消救車」を千葉県松戸市より受注



消防車と救急車の機能を併せ持つ世界で唯一の車両「消救車」をこの度千葉県松戸市より受注いたしました。

納入させていただく第一号車は、コンセプトカー「消救車（FFA-001）」を

ベースに消防庁からのご指導及び松戸市消防局のご要望を取り入れ、救急活動を容易に行えるようにスペースを大幅に拡大し改良したものです。

また、消防車としての機能についても、一般の「普通消防ポンプ車」と同じで、放水能力は最大1分間に2,000ℓ（ドラム缶10本分）以上の放水能力を有しており、納入時期は、2005年1月の予定です。

救急車の出動件数が年々増加し車両不足の傾向の中、一秒でも早く救急患者の搬送のできる車、次世代のニーズにマッチした車として近い将来全国に配備されるものと思います。

今年度は、日本で初めて登場する第一号「消救車」として活躍しますが、2009年度中までには200台（約70億円）の受注を目標としています。

## 2004東京国際モーターショーへ出展

去る11月2日（火）～7日（日）に、千葉県海浜幕張メッセで開催された「2004東京国際モーターショー」へあらゆる火災・事故現場において消火活動・救助活動を問わず優れた威力を発揮できる「水路付先端屈折はしご車 MLJSH5-30W」と「消救車」の2台を展示しました。

今回のモーターショーは、6日間で248,600人の入場者数となり大きな話題を呼びました。なかでも「消救車」については「世界初の「消救車」を千葉県松戸市へ納入」が各社の新聞へ掲載されたことで一躍話題の車として評判になりました。



## スプリンクラーに代わる 自動消火設備「スプリネックス」

当社のグループ会社である(株)モリタユージーが独自の技術で開発した、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」が消防法の改正（平成16年5月31日告示）で、スプリンクラー設備と同等以上の防火安全性能を有することが認められました。

火災感知・消火スピードが早く、維持管理が簡単、しかも水の4倍という消火性能と非再燃性に優れた消火薬剤の使用など技術的に優れていることで設計事務所等へのPRが浸透し急速に需要が拡大しております。

今後、全国の新築・既存の建物の旅館、ホテル、共同住宅や病院、福祉施設、幼稚園、養護学校等、また、地下鉄の駅構内のコンビニエンスストアなどへの設置にも大いに期待できるものとしてモリタグループ総力を上げて取組んでまいります。



日本消防検定協会の行う認定第一号に合格したスプリネックス「FSSM300Ⅱ型」（鑑認パ第16～1号）はスプリンクラーと異なり、水槽・ポンプシステム・自家発電設備等大きな設備は必要ありません。また水損の心配も少なく、配管部分は空の状態なので地震による液漏れも起こりません。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、第72期の中間事業報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

## ■ 営業の概況

### 1. 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や、個人消費、雇用情勢に回復の兆しが現れるなど景気は堅調に推移いたしました。当社の主要な取引先である自治体の財政は依然として厳しく、加えて原材料価格の上昇も続いております。

このような状況にあって、当社グループは、各事業部門において、懸命な営業活動を展開するとともに原価低減、経費の削減による収益力の強化、グループの総合力の向上に努めてまいりました。

当社グループ中間期の業績は、売上高は14,160百万円と、前年同期比311百万円の減収となりました。利益につきましては、季節的要因により営業損失388百万円（前年同期比△55百万円）、経常損失362百万円（前年同期比△7百万円）、中間純損失205百万円（前年同期比△53百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高及び利益は、消防ポンプ部門の主たる売上が自治体向けであることにより、下期に増加いたします。

### 2. 当中間期のセグメント別の概況

#### ■ 防災関連事業

消防ポンプ部門において、当初下期売上予定のものが

一部上期へ前倒しになったことにより、防災関連事業の売上高は8,449百万円となり、前年同期比1,539百万円の増収となりました。利益におきましては、最終的には、季節的要因により営業損失157百万円となりましたが、消防ポンプ関係の売上増により前年同期比275百万円改善いたしました。

## ■環境関連事業

環境関連事業の売上高は6,043百万円となり、子会社(株)モリタエコノスの衛生車・塵芥車等の環境衛生車両の売上が、昨年の排ガス規制による特需の反動により減少し、前年同期比1,631百万円の減収となりました。利益におきましては、産業機械・プラント分野においては改善いたしましたが、前述の環境衛生車両の売上減少の影響が大きく、前年同期比346百万円減の営業損失237百万円となりました。

## □今後の見通し

当社グループは、更なる収益重視経営の徹底、コスト削減及び新製品開発などによる営業シェアの向上、間接部門を含めた販管費の削減等により、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役会長兼社長 新 村 鋭 男

# 連結財務諸表

## CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

### ■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計年度 (2003年9月30日現在)	当中間連結会計年度 (2004年9月30日現在)	前連結会計年度 (2004年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			
流 動 資 産	23,806	22,799	24,499
固 定 資 産	31,146	31,847	32,296
資 産 合 計	54,953	54,647	56,796
<b>負 債 の 部</b>			
流 動 負 債	15,484	15,916	18,490
固 定 負 債	11,989	10,370	9,080
負 債 合 計	27,473	26,286	27,571
少 数 株 主 持 分	253	260	274
<b>資 本 の 部</b>			
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	4,345	4,346	4,345
利 益 剰 余 金	17,010	18,108	18,556
土 地 再 評 価 差 額 金	777	777	777
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	529	1,064	1,243
自 己 株 式	△182	△942	△719
資 本 合 計	27,226	28,100	28,950
負債・少数株主持分及び資本合計	54,953	54,647	56,796

### ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計年度 (自2003年4月1日 至2003年9月30日)	当中間連結会計年度 (自2004年4月1日 至2004年9月30日)	前連結会計年度 (自2003年4月1日 至2004年3月31日)
売 上 高	14,472	14,160	41,643
売 上 原 価	10,781	10,404	30,706
売 上 総 利 益	3,690	3,756	10,937
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,024	4,145	8,292
営 業 利 益	△333	△388	2,645
営 業 外 収 益	131	182	322
営 業 外 費 用	153	156	319
経 常 利 益	△354	△362	2,647
特 別 利 益	94	84	228
特 別 損 失	16	35	169
税金等調整前中間(当期)純利益	△276	△313	2,706
法人税、住民税及び事業税	△118	△97	428
法人税等調整額	—	—	696
少 数 株 主 損 益	△7	△11	12
中間(当期)純利益	△151	△205	1,568

## ■ 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計年度 (自2003年4月1日 至2003年9月30日)	当中間連結会計年度 (自2004年4月1日 至2004年9月30日)	前連結会計年度 (自2003年4月1日 至2004年3月31日)
<b>資 本 剰 余 金 の 部</b>			
資本剰余金期首残高	4,345	4,345	4,345
資本剰余金増加高	0	0	0
資本剰余金中間期末(期末)残高	4,345	4,346	4,345
<b>利 益 剰 余 金 の 部</b>			
利益剰余金期首残高	17,477	18,556	17,477
利益剰余金増加高	—	—	1,568
利益剰余金減少高	466	447	489
利益剰余金中間期末(期末)残高	17,010	18,108	18,556

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計年度 (自2003年4月1日 至2003年9月30日)	当中間連結会計年度 (自2004年4月1日 至2004年9月30日)	前連結会計年度 (自2003年4月1日 至2004年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△757	△2,806	4,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△191	△164	△869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	1,196	△3,280
現金及び現金同等物の増減額	△1,085	△1,775	387
現金及び現金同等物の期首残高	4,817	5,238	4,817
新連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33	—	33
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,765	3,463	5,238

# 単独財務諸表

## NON-CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

### ■ 単独貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前中間会計年度 (2003年9月30日現在)	当中間会計年度 (2004年9月30日現在)	前会計年度 (2004年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			
流 動 資 産	21,164	16,690	17,422
固 定 資 産	30,526	31,979	32,357
有 形 固 定 資 産	25,682	25,078	25,163
無 形 固 定 資 産	245	146	174
投 資 等	4,598	6,754	7,019
資 産 合 計	51,690	48,670	49,779
<b>負 債 の 部</b>			
流 動 負 債	12,889	11,256	12,910
固 定 負 債	11,685	9,726	8,455
負 債 合 計	24,575	20,983	21,365
<b>資 本 の 部</b>			
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	4,345	4,346	4,345
利 益 剰 余 金	16,911	17,744	18,081
土 地 再 評 価 差 額 金	777	777	777
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	516	1,014	1,182
自 己 株 式	△182	△942	△719
資 本 合 計	27,115	27,686	28,413
負 債 及 び 資 本 合 計	51,690	48,670	49,779

### ■ 単独損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間会計年度 (自2003年4月1日 至2003年9月30日)	当中間会計年度 (自2004年4月1日 至2004年9月30日)	前会計年度 (自2003年4月1日 至2004年3月31日)
売 上 高	12,278	7,631	30,635
売 上 原 価	9,293	5,621	22,959
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,483	2,375	5,893
営 業 利 益	△498	△365	1,781
経 常 利 益	△467	△201	1,930
税 引 前 中 間 ( 当 期 ) 純 利 益	△390	△155	2,023
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	△148	△52	142
法 人 税 等 調 整 額	—	—	780
中 間 ( 当 期 ) 純 利 益	△242	△102	1,100
中 間 ( 当 期 ) 未 処 分 利 益	16	169	1,185

# 会社の概要

## CORPORATE DATA

### ■ 概 要

創 業	明治40年 4 月23日
設 立	昭和 7 年 7 月23日
代 表 者	代表取締役会長兼社長 新 村 鋭 男
資 本 金	47億4,612万円
大 阪 本 社	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
東 京 本 社	東京都港区西新橋3丁目25番31号

#### 主な事業内容

##### ポンプ事業部門

はしご付消防ポンプ自動車、化学消防ポンプ自動車、普通消防ポンプ自動車及び各種消防関係車輛並びに特殊車輛の製造、販売

##### 防災事業部門

粉末ABC消火器をはじめ、その他各種防災機器の販売並びに防災設備の設計施工、保守点検

##### 環境事業部門

リサイクル処理施設、各種ごみ処理施設の設計施工及び各種大型油圧機械の製造、販売

### ■ グループ会社

株式会社 モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 モリタテクノス	大阪府東大阪市高井田中2丁目3番26号
株式会社 モリタ総合サービス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
モリタ第一機工株式会社	大阪府東大阪市高井田中2丁目3番26号
株式会社 モリタ 東 海	三重県津市島崎町137番地の126
株式会社 上 野 モリタ	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
株式会社 モリタユージー	東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目15番2号
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ 東 洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
南京晨光森田环保科技有限公司	中国 南京市 正学路 1 号

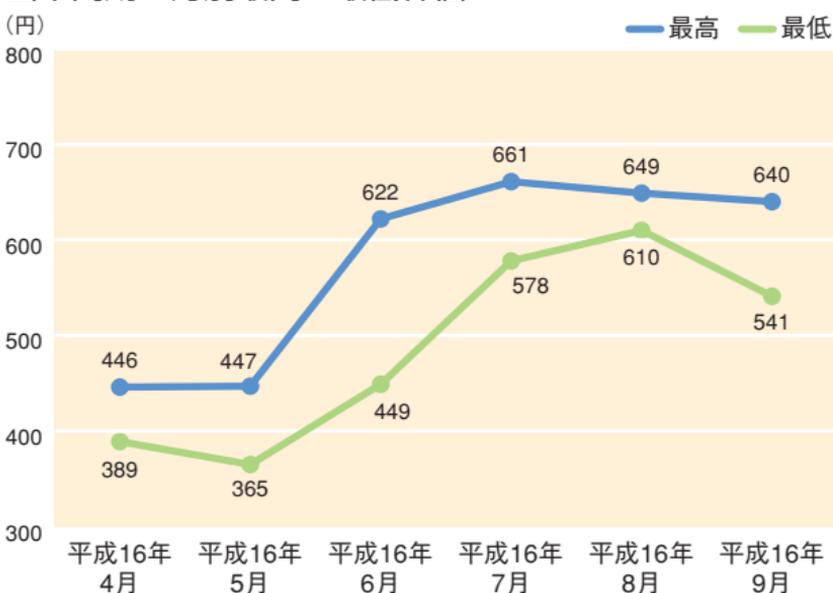
## STOCK INFORMATION

- 会社が発行する株式の総数 75,778,000株
- 発行済株式の総数 46,918,542株
- 1単元の株式の数 1,000株
- 株主数 5,723名
- 大株主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
	千株	%
第一生命保険相互会社	3,265	6.96
株式会社モリタ	2,485	5.30
株式会社みずほコーポレート銀行	2,177	4.64
住友信託銀行株式会社	2,172	4.63
株式会社三井住友銀行	2,007	4.28
株式会社東京三菱銀行	2,003	4.27
モリタ取引先持株会	1,988	4.24
モリタ従業員持株会	1,133	2.42
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,005	2.14
トレスナーバンクエージフランクフルトイキティーズカスマーズアカウント	910	1.94

## ■ 株価の推移

## 当中間期の月別最高・最低株価



# 役員

## DIRECTORS, AUDITORS AND EXECUTIVE OFFICERS

### ■ 役員構成 (平成16年9月30日現在)

代表取締役会長兼社長	新	村	鋭	男
取締役副社長	出	水	重	次
専務取締役	笹	川		収
専務取締役	柴	田	正	興
常務取締役	村	井	直	行
常務取締役	浅	田	栄	治
常務取締役	前	畠	幸	広
取締役	中	田	和	彦
取締役	中	島	正	博
常勤監査役	広	瀬		郷
常勤監査役	西	田	一	成
監査役	松	村	和	宜
監査役	中	野	輝	雄
常務執行役員	北	村	怜	三
執行役員	川	副	哲	郎
執行役員	市	原	通	弘
執行役員	北	村	賢	一
執行役員	川	瀬	武	男

## ■ 株主メモ

決 算 期 3月31日

定 時 株 主 総 会 6月中

基 準 日 3月31日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定める。

公 告 の 方 法 日本経済新聞に掲載する。ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、<http://www.morita119.com>において提供する。

名義書換代理人 大阪市中央区北浜4丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 所 大阪市中央区北浜4丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) (住所変更等用紙ご請求) ☎0120-175-417  
(その他のご照会) ☎0120-176-417

(インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>  
(ホームページURL)

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 大阪証券取引所

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。



<http://www.morita119.com>

人と地球のいのちを守る

# MORITA

## 株式会社モリタ

大阪本社 〒544-8585 大阪市生野区小路東5丁目5番20号

☎06-6756-0100

東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号

☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>

**R100**

古紙配合率100%の  
再生紙を使用しています

**PRINTED WITH  
SOYINK**

環境に配慮して大豆油インキ  
で印刷しています

本報告書は再生紙を使用しております。